# 19 龍ケ崎済生会病院

## 病院の概要

| | |
|---|---|
| 開設 | 2001年11月 |
| 開設者 | 社会福祉法人恩賜財団済生会支部茨城県済生会 |
| 院長名 | 海老原　次男 |
| 病床数 | 204床（ICU4床） |
| 標榜科（22科） | 内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、内分泌・代謝内科、脳神経内科、リウマチ科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、心臓血管外科、形成外科、リハビリテーション科、麻酔科、放射線科 |
| 医師数 | 42人（常勤） |
| 指導医数 | 22人 |
| 研修医数 | 3人（協力型含む） |
| 外来患者数 | 370.2人／日 |
| 入院患者数 | 148.7人／日 |
| 時間外・休日労働時間上限の適用水準 | A水準（2026年4月現在） |

## 応募・問合せ先


**龍ケ崎済生会病院**

〒301-0854　茨城県龍ケ崎市中里1丁目1番
担当者：人事課　須藤・関口
ＴＥＬ：０２９７－６３－７１１１
ＦＡＸ：０２９７－６３－７１６３
E-mail：web_master@ryugasaki-hp.org
ＵＲＬ：http://www.ryugasaki-hp.org


## 募集要項

| | |
|---|---|
| 応募資格 | 2027年3月国家試験合格見込み者 |
| 採用人数 | 2名（予定） |
| 試験日程 | 2026年8月頃 |
| 選考方法 | 面接、小論文 |
| 処遇 | ■身分：常勤（研修医）<br>■給与：1年次：306,130円<br>2年次：314,930円<br>賞与：年2回（6.12月）<br>■社会保険：有<br>■宿舎：有<br>■その他：通勤手当（上限月額55,000円）<br>住宅手当（上限月額27,000円）<br>扶養手当・時間外手当・当直手当　他 |

■JR常磐線　龍ケ崎市駅
関東鉄道バス白羽1丁目行き　済生会病院下車　約20分
■常磐自動車道つくばJCTより圏央道（首都圏中央連絡自動車道）
牛久阿見ICより約25分

### 病院見学対応状況

■見学時間…随時（月～金）
■対象…全学年
■宿泊…近隣の宿泊施設を紹介
■問い合わせ先
担当者：人事課　須藤・関口
TEL：0297-63-7111
E-mail：web_master@ryugasaki-hp.org

### 育児支援等

■敷地内保育所完備（休日・夜間・病児保育あり）
■育児短時間勤務
■育児のための所定外労働の免除
■育児のための時間外労働・深夜業の制限
■子の看護休暇
■ファミリーサポート休暇　他

## 研修プログラムの特色

●地域の基幹病院、稲敷地区の救急受け入れのゲートとしてプライマリケアの習得に必要な豊富な症例の経験が可能です。
●済生会グループであることを活かし、水戸済生会総合病院や神栖済生会病院、常陸大宮済生会病院、茨城県立こども病院などとの連携・研修が可能です。また、同じく済生会グループの特別養護老人ホーム龍ケ岡や当院付属の総合健診センターが隣接しており、急性期のみならず幅広い臨床研修が可能です。

## 研修スケジュール例

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1年次 | 内　科（24週） | | 外科（8週） | 救急（12週） | 小児科（8週） |
| 2年次 | 産婦人科（8週） | 選　択　科　目（32週） | | 精神科（4週） | 地域医療（8週） |

【協力型病院】
筑波大学附属病院、水戸済生会総合病院、神栖済生会病院、茨城県立こども病院、みやざきホスピタル
【協力施設】
常陸大宮済生会病院、いしかわクリニック、特別養護老人ホーム龍ケ岡、竜ケ崎保健所

## 専門研修の募集について

独自のプログラムはありませんが、筑波大学附属病院などの連携施設として引き続き当院での研修が可能です。

## 研修・認定施設一覧

・日本内科学会認定医制度教育関連病院
・日本外科学会専門医制度関連施設
・日本消化器外科学会専門医制度修練施設
・日本循環器学会専門医制度研修関連施設
・日本整形外科学会専門医制度研修施設
・日本眼科学会専門医制度研修施設
・日本泌尿器科学会専門医教育施設
・日本呼吸器学会専門医制度認定施設
・日本神経学会専門医制度准教育施設
・日本消化器病学会専門医制度認定施設
・日本呼吸器内視鏡学会専門医制度関連認定施設
・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
・日本認知症学会専門医制度教育施設
・日本麻酔科学会麻酔科標榜のための研修施設
・日本がん治療認定医機構認定研修施設
・日本緩和医療学会認定研修施設
・日本栄養療法推進協議会NST稼働施設
・日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設
・日本人間ドック学会専門医制度認定研修施設

## 病院からメッセージ

**プログラム責任者**
**古庄　健太郎**

様々な経験を積んで知識や手技を身につけたい、と多くの研修医が希望していると思います。当院は茨城県南で最も南東に位置している二次救急病院であり、利根川沿いの稲敷地域の救急医療を担っています。また地域医療支援病院としてかかりつけ医との連携を重視しています。
実際の臨床では複数の疾患を同時に抱えていたり、疾患のみでなく認知機能低下や生活環境、経済的問題などを含めて患者さんの包括的なサポートが必要です。204床と病院規模は小ぶりですが、顔が見える関係により診療科の壁は低く、スタッフの協力も得やすく、小回りがきいて働きやすい環境で、個々の希望に応じた経験を積むことが可能です。ぜひ一緒に働きましょう。

**研修医**
**梅沢　貴介**

当院は臨床研修医を受け入れ開始後間もないため、研修医の人数は少ないですが、その分指導医の先生方から手厚い指導を受けることができます。
意欲次第で手技の経験も多く積むことが可能です。近隣の筑波大学からの短期研修も受け入れているため、研修医同士の交流もできます。
研修医室も完備されており、過ごしやすいです。またスタッフの皆さんも優しい方が多く、医師以外の職種の方々ともコミュニケーションが取りやすい環境です。
病院自体は駅から少し距離がありますが、東京との電車アクセスも良好です。
ぜひ一度見学にいらしてください！